



入倉 孝次郎 名誉教授

# 入倉孝次郎教授略歴

## (学歴・職歴)

昭和 15 年 8 月 22 日	中国青島市に生まれる
34 年 3 月	栃木県立栃木高等学校卒業
34 年 4 月	京都大学理学部入学
38 年 3 月	京都大学理学部物理学科卒業
38 年 4 月	京都大学大学院理学研究科地球物理学専攻修士課程入学
41 年 3 月	京都大学大学院理学研究科地球物理学専攻修士課程修了
41 年 4 月	京都大学大学院理学研究科地球物理学専攻博士課程入学
43 年 3 月	京都大学大学院理学研究科地球物理学専攻博士課程中途退学
43 年 4 月	京都大学防災研究所助手 (昭和 48 年 4 月まで)
48 年 5 月	京都大学防災研究所助教授 (昭和 63 年 7 月まで)
59 年 8 月	南カリフォルニア大学客員助教授 (昭和 61 年 1 月まで)
63 年 8 月	京都大学防災研究所教授
平成 1 年 4 月	ミラノ工科大学客員教授 (平成 1 年 5 月まで)
2 年 7 月	南カリフォルニア大学客員教授 (平成 2 年 8 月まで)
2 年 12 月	メキシコ国立防災センター、JICA 長期派遣専門家 (平成 3 年 12 月まで)
13 年 5 月	京都大学防災研究所所長 (平成 15 年 4 月まで)
15 年 12 月	京都大学総長補佐 (平成 16 年 3 月まで)
16 年 4 月	京都大学副学長、理事

## (公職歴・委員等歴)

平成 1 年	日本自然災害学会 英文誌編集長 (平成 10 年まで)
平成 8 年	日本地震学会 強震動委員会委員長 (平成 11 年まで)
平成 11 年	日本地震学会 会長 (平成 14 年まで)
平成 9 年 10 月	日本学術会議 メカニクス・構造研究連絡委員会委員 (平成 12 年 10 月まで)
平成 12 年 7 月	日本学術会議 会員、第 18 期、第 4 部理学 (平成 15 年 7 月まで)
平成 12 年 10 月	日本学術会議 地球物理学研究連絡委員会委員長 (15 年 10 月まで)
平成 12 年 10 月	日本学術会議 地震学研究連絡委員会委員長 (15 年 10 月まで)
平成 12 年	日本地震工学会 副会長 (平成 13 年まで)
平成 16 年	日本地震工学会 会長 (平成 17 年 6 月まで)
平成 9 年 4 月	建設省 構造物の耐震安全性向上に関する技術検討会委員 (平成 10 年 4 月まで)
平成 9 年 8 月	社団法人日本電気協会 日本電気技術規格委員会原子力発電耐震 設計専門部会委員 (平成 17 年 3 月まで)

平成 9 年 8 月	社団法人日本電気協会 地震・地震動部会委員（平成 17 年 3 月まで）
平成 9 年 10 月	財団法人防災研究協会 非常勤研究員（平成 16 年 3 月まで）
平成 9 年 10 月	理化学研究所 地震防災フロンティア研究専門部会専門委員（平成 10 年 3 月まで）
平成 10 年 1 月	科学技術庁研究開発局 地震調査研究推進本部地震調査委員会委員 （平成 12 年 1 月まで）
平成 10 年 8 月	財団法人原子力発電技術機構 発電炉部会 PSA 分科会委員（平成 15 年 9 月まで）
平成 10 年 9 月	東京大学地震研究所 東京大学地震研究所協議会協議員（平成 16 年 3 月まで）
平成 10 年 10 月	京都市 京都盆地地下構造調査委員会委員（平成 15 年 3 月まで）
平成 10 年 11 月	東京大学地震研究所 東京大学地震研究所外部評価委員会委員 （平成 12 年 3 月まで）
平成 11 年 1 月	科学技術庁原子力安全局 原子力安全技術顧問（平成 13 年 1 月まで）
平成 11 年 2 月	建設省建設研究所国際地震工学研修協議会委員（平成 12 年 12 月まで）
平成 11 年 2 月	財団法人日本建築センター構造関係指針検討委員会委員（平成 12 年 3 月まで）
平成 11 年 5 月	国土庁大都市圏整備局首都機能移転課 首都機能移転先候補地想定の 地震災害等に関する検討会委員（平成 11 年 7 月まで）
平成 11 年 6 月	独立行政法人 防災科学技術研究所強震観測事業推進連絡会議委員 （平成 17 年 3 月まで）
平成 11 年 7 月	神奈川県 神奈川県地下構造調査委員会委員（平成 13 年 3 月まで）
平成 11 年 7 月	愛知県 濃尾平野地下構造調査委員会委員（平成 15 年 3 月まで）
平成 11 年 10 月	科学技術庁研究開発局 地震調査委員会強震動評価部会委員長 （平成 12 年 3 月まで）
平成 11 年 10 月	科学技術庁研究開発局 強震動予測手法検討分科会主査（平成 12 年 3 月まで）
平成 12 年 1 月	日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員（平成 12 年 12 月まで）
平成 12 年 1 月	財団法人原子力発電技術機構 耐震検討会委員（平成 14 年 3 月まで）
平成 12 年 4 月	文部科学省研究開発局 地震調査委員会委員（平成 18 年 2 月まで）
平成 12 年 4 月	文部科学省研究開発局 地震調査委員会強震動評価部会部会長 （平成 18 年 2 月まで）
平成 12 年 4 月	文部科学省研究開発局 地震調査委員会強震動予測手法検討分科会主査 （平成 18 年 2 月まで）
平成 12 年 4 月	核燃料サイクル開発機構 研究開発課題評価委員会委員（平成 13 年 3 月まで）
平成 12 年 7 月	社団法人 科学技術国際交流センター 強震動の定量的予測と震源の物理に 関する国際ワークショップ企画運営委員（平成 13 年 3 月まで） 文部科学省 地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究運営委員会 委員（平成 17 年 3 月まで）
平成 12 年 9 月	東京大学地震研究所 東京大学地震研究所地震予知研究協議会外部評価委員会 委員（平成 15 年 3 月まで）
平成 12 年 10 月	大学評価・学位授与機構 理学系研究評価専門委員会委員（平成 14 年 10 月まで）
平成 13 年 1 月	内閣府原子力安全委員会専門委員（平成 17 年 3 月まで）

平成 13 年 1 月 経済産業省資源エネルギー庁 総合資源エネルギー調査会臨時委員  
(平成 17 年 1 月まで)

平成 13 年 1 月 海洋科学技術センター 固体地球統合フロンティア研究システム事前評価  
委員会委員(平成 13 年 3 月まで)

平成 13 年 3 月 内閣府 中央防災会議専門委員(平成 15 年 3 月まで)

平成 13 年 4 月 文部科学省研究開発局 科学技術・学術審議会臨時委員(平成 17 年 1 月まで)

平成 13 年 5 月 城陽市 城陽市防災会議委員(平成 15 年 3 月まで)

平成 13 年 6 月 財団法人防災研究協会 理事(平成 16 年 5 月まで)

平成 13 年 7 月 独立行政法人産業技術総合研究所 レビューボード委員(平成 15 年 3 月まで)

平成 13 年 8 月 九州大学応用力学研究所 運営協議員(平成 16 年 3 月まで)

平成 13 年 10 月 財団法人震災予防協会 評議員(平成 16 年 3 月まで)

平成 14 年 1 月 愛知県 平成 13 年度三河地域堆積平野地下構造調査委員会委員  
(平成 15 年 3 月まで)

平成 14 年 3 月 文部科学省研究開発局 地震調査研究推進本部政策委員会委員  
(平成 16 年 3 月まで)

平成 14 年 5 月 三重県 伊勢平野地下構造調査委員会委員(平成 17 年 3 月まで)

平成 14 年 6 月 愛知県 三河地域堆積平野地下構造調査委員会委員(平成 17 年 3 月まで)

平成 14 年 6 月 科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター専門調査員(平成 15 年 3 月まで)

平成 14 年 7 月 大阪府 大阪平野地下構造調査委員会委員(平成 16 年 3 月まで)

平成 14 年 10 月 東京大学地震研究所 大都市圏地殻構造調査研究運営委員会委員  
(平成 16 年 9 月まで)

平成 14 年 10 月 独立行政法人 防災科学技術研究所 実大三次元震動破壊実験施設  
運営協議会委員(平成 16 年 3 月まで)

平成 15 年 10 月 内閣府 中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」地震ワーキンググループ  
委員(平成 17 年 2 月まで)

平成 15 年 12 月 文部科学省研究開発局 海溝型地震を対象とした重点的調査観測手法  
検討専門委員会委員(平成 16 年 4 月まで)

平成 15 年 12 月 東京大学地震研究所 東京大学地震研究所外部評価委員会委員  
(平成 16 年 3 月まで)

平成 16 年 1 月 京都府 京都府東南海・南海地震に関する防災対策検討委員会委員  
(平成 16 年 3 月まで)

平成 16 年 3 月 独立行政法人 原子力安全基盤機構 PSA 検討会・地震ハザード評価  
分科会委員(平成 18 年 2 月まで)

(受 賞)

平成 15 年 9 月 スロバキアにおける地震学 100 年記念メダル受賞  
(スロバキア学士院地球物理学会より授与)

平成 16 年 4 月 平成 16 年度文部科学大臣表彰(研究功績者)受賞

入 倉 孝 次 郎 研 究 業 績  
論 文

発表年	論 文 名	発 表 誌 名	共 著 者
1966	自然地震と人為加振による地盤の振動特性について	京都大学防災研究所年報, 9, 119-136	吉川宗治・島 通保
1967	Vibration characteristics of ground investigated by several methods	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, 16, 1-16	Yoshikawa, S. and M. Shima
1967	地盤調査における2・3の問題(続)	京都大学防災研究所年報, 10 A, 165-180	吉川宗治・島 通保・後藤典俊
1968	人為加振による地盤の震動特性について	京都大学防災研究所年報, 11 A, 165-177	吉川宗治・島 通保・後藤典俊・赤松純平
1968	SH型トルクによる多層構造地盤の震動特性について(1)	京都大学防災研究所年報, 11 A, 198-201	島 通保
1968	松代周辺地域における地盤の震動特性について(第2報)	京都大学防災研究所年報, 11 A, 179-192	吉川宗治・島 通保
1969	SH型トルクによる多層構造地盤の震動特性について(2)	京都大学防災研究所年報, 12 A, 181-190	島 通保
1969	えびの・吉松町における地盤の震動特性の調査(I)	京都大学防災研究所年報, 第12号A, 33-45	吉川宗治・島 通保・後藤典俊・赤松純平
1970	局所地震のParticle Motionの方向について	京都大学防災研究所年報, 13 A, 149-162	古沢 保
1970	爆破震動および近地地震波のNear Surface Effectsについて	京都大学防災研究所年報, 13 A, 163-173	赤松純平・松尾和子
1970	Vibrational characteristics of the ground near the epicenter	Proceedings of the Third Japan Earthquake Engineering Symposium, 285-292	K. Matsuo and S. Yoshikawa:
1971	地震波形におよぼすLocal Crustal Effectについて	京都大学防災研究所年報, 14 A, 189-202	古沢 保・竹本修三・赤松純平
1971	An analysis of strong motion accelerograms near the epicenter	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, 20, 267-288	K. Matsuo and S. Yoshikawa
1972	Spectra of body waves from local small Earthquakes in the southern parts of Kyoto	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, 22, 23-36	Furuzawa, T., S. Takemoto and J. Akamatsu:
1973	Some problems in determining earthquake ground motions on base rock	Proceedings of 5th World Conference Earthquake Engineering, 2	J. Akamatsu, and T. Furuzawa
1973	ミニコンピューターによる短周期地震波の多成分観測	京都大学防災研究所年報, 16 B, 1-9	後藤典俊・赤松純平
1974	地震波資料のファイリングと自動処理	京都大学防災研究所年報, 17 B, 15-27	古沢 保・赤松純平
1974	Earthquake motions observed on ground and rock	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, 24, 263-280	J. Akamatsu
1975	天ヶ瀬地殻変動観測所で観測される局所地震のS波の性質について	京都大学防災研究所年報, 18 B, 11-21	赤松純平・古沢 保
1975	地盤による地震波の震動特性と雑微動特性の比較	京都大学防災研究所年報, 18 B, 1-9	赤松純平・松波孝治

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1975	雑微動の性質と地盤構造の関係について	Proceedings of 4th Japan Earthquake Engineering Symposium, 185-192	
1976	傾斜構造を有する地盤の震動特性	京都大学防災研究所年報, 19B, 39-57	
1977	地盤の震動特性への基盤岩形状の影響	第14回自然災害シンポジウム, 375-379	
1978	地震基盤と地震動	日本建築学会第6回地盤震動シンポジウム, 1-8	
1978	Characteristics of microtremors in a ground with steeply varying structure	Proceedings of 5th Japan Earthquake Engineering Symposium, 297-304	T. Kawanaka
1979	地盤の震動特性評価の際の地形の影響	京都大学防災研究所年報, 20B-1, 1-11	
1980	震波速度の精密連続観測 (I) - 黄檗断層附近における観測	地震第2輯, 33, 505-515	安藤雅孝・須藤 研・橋田俊彦・五十嵐千秋
1980	Characteristics of microtremors on ground with discontinuous underground structure	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, 30, 81-96	T. Kawanaka
1980	Earthquake ground motions influenced by irregularities of sub-surface topographies	Proceedings of 7th World Conference Earthquake Engineering, 2, 181-188	
1980	黄檗断層の地震探査	京都大学防災研究所年報, 23B-1, 95-106	小林芳正・堀家正則・天池文男・岸本清行・春田 茂
1982	Synthesis of strong ground motion from large earthquakes using observed seismograms of small events	Proceedings of 3rd International Earthquake Microzonation Conference., 1, 447-458	I. Muramatsu
1983	Semi-empirical estimation of strong ground motions during large earthquakes	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, 33, 63-104	
1984	Estimation of irregular underground structure form seismic ground motions	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, 34, 1-16	Iwata, T.
1986	Prediction of strong acceleration motion using empirical Green's function	Proceedings of 7th Japan Earthquake Engineering Symposium, Tokyo, 151-156	
1986	観測された地震波から震源特性・伝播経路特性及び観測点近傍の地盤特性を分離する試み	地震第2輯, 39, 151-156	岩田知孝
1986	Rupture process of the 1983 Japan Sea (Akita-Oki) earthquake using a waveform inversion method	Bulletin of Seismological Society of America, 76, 1623-1640	Fukuyama, E. and K. Irikura:
1987	経験的グリーン関数法による高周波地震動の予測	京都大学防災研究所年報, 30B-1, 107-131	須本満由美・岩田知孝
1987	微動観測による基盤構造の不規則性の推定	日本建築学会地盤震動シンポジウム, 17, 67-76	
1988	Source parameters of the 1983 Japan-Sea earthquake sequence	J. Phys. Earth, 36, 155-184	Iwata, T.
1988	Prediction of high-frequency strong motions based on heterogeneous faulting model	Proceedings of 9th World Conference on Earthquake Engineering, 2, 715-720	Iwata, T.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1989	経験的グリーン関数法による強震動予測—波形合成の手続き (procedure) とその問題点—	京都大学防災研究所年報, 32 B-1, 41-52	
1989	Heterogeneity of the 1980 Izu-Hanto-Toho-Oki earthquake rupture process	Geophysical Journal International, 99, 711-722	Fukuyama, E.
1989	トモグラフィー法による断層面上の不均質破壊過程の推定	地震第2輯, 42, 49-58	岩田知孝
1989	大阪平野及び周辺地域における高周波帯域・広動帯域地震波観測	京都大学防災研究所年報, 32 B-1, 53-60	松波孝治・岩田知孝・藤原広行・松井一郎
1990	地下における地震動特性—鉛直アレイ地震記録の数値シミュレーション—	関西の大深度地盤特性講演シンポジウム, 89-100	岩田知孝・J.-C. Gariel
1990	Rupture process and strong ground motion of the 1944 Tonankai Earthquake	Proceedings of 8th Japan Earthquake Engineering, 205-210	T. Iwata
1990	Simulation of wide-frequency-band strong ground motions based on heterogeneous rupture process	Proceedings of 8th Japan Earthquake Engineering, 205-210	Iwata, T.
1990	特定サイトにおける強震動予測	日本建築学会構造系論文報告集, 409, 11-25	釜江克宏・福知保長
1990	地域的な震源スケーリング則を用いた大地震 (M7級) のための設計用地震動予測	日本建築学会構造系論文報告集, 416, 57-70	釜江克宏・福知保長
1991	Characterization and mapping of earthquake shaking for seismic zonation	Proceedings of 4th International Conference on Seismic Zonation, 1, 61-110	Aki, K.
1991	High-frequency seismic wave radiation from antiplane cohesive zone model and fmax as source effect	Bulletin of Seismological Society of America, 81, 1115-1128	Fujiwara, H.
1991	地下における地震動特性—鉛直アレイ地震記録の数値シミュレーション	関西の大深度地盤特性シンポジウム, 89-100	岩田知孝・Jean-Christophe Gariel
1991	地震のスケーリング則に基づいた大地震時の強震動予測	日本建築学会構造系論文報告集, 430, 1-9	釜江克宏・福知保長
1991	震源スペクトルのScaling則と経験的Green関数法	地震第2輯, 44, 109-122	横井俊明
1992	The construction of large earthquake by a superposition of small events	Proceedings of 10th World Conference on Earthquake Engineering, 1, 727-730	
1992	Simulation and prediction of strong ground motions Training Course in Seismology and Earthquake Engineering II	International Institute of Seismology and Earthquake Engineering (IISEE), Japan International Cooperation Agency (JICA), TBIC JR 92-23, 46pp	T. Iwata
1992	The estimation of strong ground motion for future earthquake in Mexico	International Symposium on Earthquake Disaster Prevention, 1, 156-169	J. Aguirre
1992	Estimation of effects of subsurface structure on ground motions using 3-D array data	Proceedings of 10th World Conference on Earthquake Engineering, 1, 247-252	Iwata, T. and J.-C. Gariel:
1992	Prediction of site-specific strong ground motion using semi-empirical methods	Proceedings of 10th World Conference on Earthquake Engineering, 1, 801-806	Kamae, K.



発表年	論文名	発表誌名	共著者
1992	近畿における広帯域強震動アレー観測	京都大学防災研究所年報, 35 B-1, 1-11	松波孝治・岩田知孝
1993	Earthquake similarity and prediction of strong ground motion	Proceedings of 3rd ROC and Japan Joint Seminar on Natural Hazards Mitigation, 21-38	
1993	Simulation and prediction of strong ground motion in earthquake motion and ground conditions	Edited by The Architectural Institute of Japan, 335-394	T. Iwata and M. Takemura
1993	Waveform inversion による盆地構造の境界面形状の推定	地震第2輯, 46, 95-108	青井 真・岩田知孝・小林芳正
1994	Estimation of strong ground motion on hard rock and soft sediment sites in the Ashigara valley using the empirical Green's function method	Bulletin of Disaster Prevention Research Institute, Kyoto Univ., 44, 45-68	Aguirre, J. and K. Kudo
1994	Estimation of strong ground motion in broad-frequency band based on a seismic source scaling model and an empirical Green's function technique	Annali di Geofisica, 37, 1721-1743	K. Kamae
1994	震源のモデル化と強震動予測	地震第2輯, 46, 495-512	
1994	Simulation of strong ground motion based on fractal composite faulting model and empirical Green's function	Proceedings of the 9th Japan Earthquake Engineering Symposium, 3, E019-024	K. Kamae
1994	1946年南海地震 (M <sub>w</sub> = 8.1) 時の震源近傍及び周辺地域における強震動評価	日本建築学会構造系論文集, 455, 61-71	釜江克宏
1994	JMA87型記録による震源 伝播 サイトの地域特性の検討	第9回日本地震工学シンポジウム, 1, 751-756	田居 優・岩崎好規・岡崎 敦
1994	Estimation of source propagation-path and site effects using 3-D seismic array data	Proceedings of the 9th Japan Earthquake Engineering Symposium, 3, E055-060	Iwata, T.
1994	統計的波形合成法を用いた1946年南海地震の震源分布の再現	第9回日本地震工学シンポジウム論文集, 1, 559-564	釜江克宏
1994	近地強震記録を用いた1993年北海道南西沖地震最大余震 (1993/8/8 MJMA 6.3) の震源過程	月刊海洋, 号外7「北海道南西沖地震と津波」, 80-87	岩田知孝・釜江克宏
1994	経験的グリーン関数法による1993年釧路沖地震の強震動波形の合成	京都大学防災研究所年報, 37 B-1, 217-223	寛 楽磨・芝 良昭
1995	Preliminary analysis of non-linear site effects at Port Island vertical array station during the 1995 Hyogoken-Nambu earthquake	Journal of Natural Disaster Science., 16 (2), 49-58	Aguirre, J.
1995	Waveform inversion for determining the boundary shape of a basin structure	Bulletin of Seismological Society of America, 85, 1445-1455	Aoi, S., T. Iwata, and F. J. Sanchez-Sesma:
1995	Basin-induced Love waves in the eastern part of the Osaka basin	Journal of Physics of the Earth, 43, 131-155	Hatayama, K., K. Matsunami and T. Iwata
1995	Attenuation characteristics of peak amplitude in the Hyogoken-nambu earthquake	Journal of Natural Disaster Science., 16 (3), 39-46	Y. Fukushima
1995	兵庫県南部地震の震源断層強震動と被害の特徴	物理探査, 48, 463-489	



発表年	論文名	発表誌名	共著者
1995	Array observation of aftershocks of the 1995 Hyogoken-nambu earthquake at Higashinada ward Kobe city	Journal of Natural Disaster Science., 16 (2), 41-48	Iwata, T., K. Hatayama, H. Kawase, and K. Matsunami
1995	A fault rupture model of the 1995 Hyogoken Nambu earthquake (MJMA = 7.2) estimated by the empirical Green's function method	Journal of Natural Disaster Science., 16 (2), 31-40	Kamae, K.
1995	兵庫県南部地震による神戸市ポートアイランドでのボアホール観測記録とそのシミュレーション	日本建築学会構造系論文集, 475, 83-92	川瀬 博・佐藤智美・福武毅芳
1995	余震観測記録に基づく兵庫県南部地震時の神戸市東灘区における本震地動の推定	日本建築学会構造系論文集, 476, 103-112	川瀬 博・佐藤智美・松島信一
1995	Source complexity of the January 17 1995 Hyogoken-Nambu earthquake determined by near-field strong motion modeling: preliminary results	Journal of Natural Disaster Science., 16 (3), 31-37	Pitarka, A. and T. Kagawa
1995	Strong motion records in the source area of the Hyogoken-Nambu earthquake January 17 1995 Japan	Journal of Natural Disaster Science., 16 (2), 23-30	Toki, K. and T. Kagawa
1995	釧路地方気象台における強震動と弱震動に対するサイト特性の評価	地震第2輯, 48, 341-351	山本みどり・岩田知孝
1995	兵庫県南部地震の強震動と被害の特徴	京都大学防災研究所年報, 38 A, 53-67	
1995	1995年兵庫県南部地震による強震動	月刊地球, 号外13, 54-62	
1995	Basin-induced Love waves in the eastern part of the Osaka basin (Japan)	Proceedings of 5th International Conference on Seismic Zonation, Nice, 763-770	Hatayama, K., K. Matsunami and T. Iwata
1997	Nonlinearity liquefaction and velocity of soft soil layers in Port Island Kobe during the Hyogo-ken Nanbu earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, 87, 1244-1258	Aguirre, J.
1997	Boundary shape waveform inversion for two-dimensional basin structure using three-component array data of plane incident wave with arbitrary azimuth	Bulletin of Seismological Society of America, 87, 222-233	Aoi, S., T. Iwata and H. Fujiwara,
1997	Attenuation characteristics of peak ground motions in the 1995 Hyogo-ken Nanbu earthquake	Journal of Physics of the Earth, 45, 135-146	Fukushima, Y
1997	High-frequency radiation process during earthquake faulting - Envelope inversion of acceleration seismograms from the 1993 Hokkaido-Nansei-Oki Japan earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, 87, 904-917	Takehi, Y.
1997	1995年兵庫県南部地震の断層モデルと震源近傍における地震動シミュレーション	日本建築学会構造系論文集, 500, 29-36	釜江克宏
1997	平成7年(1995年)兵庫県南部地震本震震源の再検討	地震第2輯, 50, 125-129	根本泰雄・根岸弘明
1997	Modeling of ground motion in Higashinada (Kobe) area for an aftershock of the January 17 1995 Hyogo-ken Nanbu Japan Earthquake	Geophysical Journal International, 131, 231-239	Pitarka, A., and T. Iwata:
1997	経験的サイト増幅特性評価方法に関する研究	地震第2輯, 50, 215-227	鶴来雅人・田居 優・古和田明

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1997	活断層を想定した強震動の予測	第2回都市直下地震災害総合シンポジウム, 1-8	岡田篤正・中田 高・佐藤比呂志・瀬瀬一起・工藤一喜・笹谷 努・岩田知孝・山下輝夫・宮武 隆・釜江克宏・竹中博士・横井俊明・笈 楽磨:
1997	1995年兵庫県南部地震時の震度7域の強震動と強震動予測	第2回都市直下地震災害総合シンポジウム, 101-102	岩田知孝・関口春子・ビタルカーベン・釜江克宏
1997	1995年兵庫県南部地震時の震度7域の強震動	日本地震学会強震動委員会強震動シンポジウム「強震動予測による地震災害の軽減をめざして」, 71-74	岩田知孝・関口春子・ビタルカーベン・釜江克宏
1997	1995年兵庫県南部地震時の震度7域の強震動	平成9年度地震研究所研究集会「地震波伝播の理論とシミュレーション」論文集, 4pp.	岩田知孝・関口春子・ビタルカーベン・釜江克宏
1998	The effects of surface geology on seismic motion - Recent progress and new horizon on ESG study	Proceedings of 2nd Symposium, Yokohama, Japan, 1-3 December	K. Kudo, H. Okada, and T. Sasatani (eds):
1998	Some characteristics of the stress field of the 1995 Hyog-ken Nanbu (Kobe) earthquake	Journal of Geophysical Research, 103, 24271-24282	Bouchon, M., H. Sekiguchi, and T. Iwata:
1998	Three-dimensional simulation of the near-fault ground motion for the 1995 Hyogoken-nanbu Japan earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, 88, 428-440	Pitarka, A., T. Iwata, and H. Sekiguchi:
1998	Source model of the 1995 Hyogo-ken Nanbu earthquake and simulation of near-source ground motion	Bulletin of Seismological Society of America, 88, 400-412	Kamae, K.
1998	A technique for simulating strong ground motion using hybrid Green's function	Bulletin of Seismological Society of America, 88, 357-367	Kamae, K., and A. Pitarka:
1998	Prediction of strong ground motion at EURO-SEISTEST site using the empirical Green's function method	Journal of Seismology, 2, 193-207	Kamae, K. and P.-Y. Bard
1998	経験的サイト特性・位相特性を用いた水平動および上下動の強震動評価	日本建築学会構造系論文集, 514, 97-104	古和田 明・田居 優・岩崎 好規
1998	活断層を想定した強震動予測	第10回日本地震工学シンポジウム・パネルディスカッション資料集, 1-6	
1998	Evaluation of strong ground motion in the source area during the 1995 Hyogoken-Nanbu (Kobe) earthquake	第10回日本地震工学シンポジウム論文集, 1, 73-78	Iwata, T., H. Sekiguchi, A. Pitarka and K. Kamae
1998	Detailed source process of the 1995 Hyogoken Nanbu (Kobe) earthquake using near-field strong ground motion data	第10回日本地震工学シンポジウム論文集, 1, 67-72	Sekiguchi, H. and T. Iwata:
1998	Basin edge effect on ground motion from Hyogo-ken Nanbu earthquake in the Kobe region	第10回日本地震工学シンポジウム論文集, 1, 851-856	Pitarka, A. and T. Iwata:
1998	断層面上のすべり分布の経験的モデル化の検討 A Study on empirical modeling of slip distribution on faults	第10回日本地震工学シンポジウム論文集, 1, 123-128	Somerville, P. G.・香川敬生・澤田純男・巽 誉樹:

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1998	High frequency inversion of the seismic source during the 1995 Hyogo-ken nanbu earthquake using GA and EGF	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 1109-1114	Aguirre, J.
1998	Destructive ground motion during the 1995 Hyogo-ken Nanbu (Kobe) earthquake	Proceedings of 4th SEGJ (Society of Exploration Geophysicists of Japan) International Symposium, 35-42	
1998	Prediction of strong motions from future earthquakes in the Osaka basin	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 1, 171-188	
1998	Contribution of CEORKA to obtain the strong motion records of the 1995 Hyogo-ken nanbu earthquake	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 387-392	Kagawa, T., T. Akazawa, Y. Iwasaki and K. Toki
1998	A simulation technique of near-source ground motion using hybrid Green's function	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 947-954	Kamae, K., and A. Pitarka:
1998	S-wave velocity structure in the San Fernando and Santa Monica areas	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 733-740	Kawase, H., T. Satoh and T. Iwata
1998	Site effects of Kobe large earthquake disaster belt using aftershock data	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 537-544	Maruo, Y. and T. Iwata
1998	Attenuation and site effect in the Osaka area Japan	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 387-392	Moya, A.,
1998	Source modeling of the Tauramena earthquake (Columbia Jan. 1995)	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 1115-1120	Pulido, N. E.
1998	Local geological structure effects on ground motion from earthquake on basin-edge faults	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 2, 901-906	Pitarka, A., T. Iwata, and H. Sekiguchi
1998	Strong ground motion observation at bedrock in the Kinki district Japan	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 1, 293-298	Tatsumi, Y., T. Kitano, F. Amaike and A. Nobata
1998	Site amplification estimation from strong motion data in Tangshan area China	Proceedings of 2nd Japan-China Joint Workshop on prediction and mitigation of seismic risk in urban regions, Hikone, Japan, 51-64	Zhang, W., and K. Matsunami

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1998	強震動予測のためのレシピ	第3回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 125-128	香川敬生・釜江克宏・関口春子
1998	理論的強震動予測における震源のモデル化	日本建築学会第26回地盤震動シンポジウム論文集, 31-38	岩田知孝
1998	アメリカネバダ州レノにおけるアレイ微動観測	第3回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 131-134	岩田知孝・川瀬 博・佐藤智美・箕 楽磨・ジョン・ルイ・ジョン・アンダーソン
1998	震源近傍域での強震動パルスの特性と断層破壊過程との関係	第3回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 75-78	釜江克宏
1998	K-NET記録を用いた1997年5月13日鹿児島県北西部地震の震源過程	第3回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 201-202	三宅弘恵・岩田知孝
1998	強震動予測の現状と将来の展望	地震第2輯, 51, 339-354	香川敬生・武村雅之
1998	Strong motion data and Geological structures distributed for Simultaneous Simulation for Kobe	The Effects of Surface Geology on Seismic Motion, eds. K. Irikura, K. Kudo, H. Okada, and S. Sasatani, Belkema, Rotterdam, 3, 1295-1310	Iwata, T., H. Kawase, H. Sekiguchi, and S. Matsushima
1998	阪神・淡路大震災を引き起こした強震動	岩の力学国内シンポジウム講演論文集, 10, 819-824	岩田知孝・関口春子
1998	Ground motion simulations in the Kobe area during the 1995 Hyogoken-Nanbu earthquake	The Effects of Surface Geology on Seismic Motion, Eds. K. Irikura, K. Kudo, H. Okada, and S. Sasatani, Belkema, Rotterdam, 3, 1369-1376	Iwata, T., H. Sekiguchi and A. Pitarka
1998	S-wave velocity structure in the San Fernando and Santa Monica areas	Proceedings of 2nd International Symposium on ESG, 3, 1519-1520	Kawase, H., T. Satoh and T. Iwata
1999	The effects of Surface Geology on Seismic Motion Recent progress and new horizon on ESG study	Proceedings of 2nd International Symposium On ESG, published by A.A.BALKEMA, 3	Kazuyoshi Kudo, Hiroshi Okada & Tsutomu Sasatani, Editors,
1999	経験的グリーン関数法を用いた1997年3月26日(M6.5)及び5月13日(M6.3)鹿児島県北西部地震の強震動シミュレーションと震源モデル	地震第2輯, 51, 431-442	三宅弘恵・岩田知孝
1999	3D Waveform simulation in Kobe of the 1995 Hyogoken-nanbu earthquake	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 3, 1347-1352	Aoi, S., H. Sekiguchi, T. Iwata, and H. Fujiwara:
1999	Ground motion simulations in the Kobe area during the 1995 Hyogoken-Nanbu earthquake	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 3, 1369-1376	Iwata T., G. Sekiguchi and A. Pitarka
1999	Simulation of strong motion using empirical Green's function method	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 3, 1425-1434	Kamae, K.
1999	Strong motion data and Geological structures distributed for Simultaneous Simulation for Kobe	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 3, 1295-1310	Iwata, T., H. Kawase, H. Sekiguchi and S. Matsushima

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1999	The 1995 Hyogo-Ken Nanbu Japan earthquake simulated by the 3D finite difference method	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 3, 1361-1368	Kristek, J., P. Moczo, T. Iwata, and H. Sekiguchi:
1999	The Northridge and Kobe simultaneous simulation experiments	Proceedings of 2nd International Symposium on "The Effects of Surface Geology on Seismic Motion" published by A.A.BALKEMA, 3, 1525-1526	Moczo, P.
1999	活断層の危険度評価と強震動予測 —その4—	第4回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 1-8	
1999	レシピに基づく強震動シミュレーション —滋賀県北西部の活断層を震源とする場合—	第4回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 99-100	岩田知孝・三宅弘恵
1999	南海トラフ沿い巨大地震に引き起こされる強震動	月刊地球, 総特集, 南海地震 —次の巨大地震に備えて—, 号外24, 176-188	釜江克宏
1999	1948年福井地震の強震動 —ハイブリッド法による広帯域強震動の再現—	地震第2輯, 52, 129-150	釜江克宏
1999	アンケート調査による兵庫県南部地震の大阪府域の震度分布	土木学会論文集, 612/I-46, 165-179	鶴来雅人・澤田純男・土岐憲三
1999	S波部分上下動P波部分水平動のサイト増幅特性	京都大学防災研究所年報, 42 B-1, 159-166	岡本大志・岩田知孝
1999	Characterizing crustal earthquake slip models for the prediction of strong ground motion	Seismological Research Letters, 70, 59-80	Somerville, P. G., R. Graves, S. Sawada, D. Wald, N. Abrahamson, Y. Iwasaki, T. Kagawa, N. Smith, A. Kowada
1999	Foreshock activity and its probabilistic relation to earthquake occurrence in Albania and the surrounding area	Annali di Geofisica, 42, 809-819	Veronika, P., K. Maeda and K. Matsumura
1999	Source and site effects on strong ground motion in near-source area during the 1995 Hyogo-ken Nanbu earthquake	Proceedings of International Seminar on Numerical Analysis in Solid and Fluid Dynamics in 1999, Osaka, 41-48	Iwata, T. and H. Sekiguchi
1999	活断層を想定した強震動予測 —その4—	第4回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集, 1-8	岡田篤正・中田 高・佐藤比呂志・額綱一起・工藤一嘉・笹谷 努・岩田知孝・山下輝夫・宮武 隆・釜江克宏・竹中博士・横井俊明・笥 楽磨・山中浩明・小嶋啓介
1999	Recipe for estimating strong ground motions from active fault earthquakes	Proceedings of International Workshop on Seismotectonics at the Subduction Zone - Toward the breakthrough in the next century -, National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention Science and Technology Agency, Tsukuba, JAPAN	



発表年	論文名	発表誌名	共著者
1999	Source and basin-structure effects on near-fault ground motions during the 1995 Hyogoken-nanbu (Kobe) earthquake	Proceedings of 2nd Japan-China Joint Workshop on Prediction and Mitigation of Seismic Risk in Urban Regions, 10pp	Iwata, T., H. Sekiguchi, A. Pitarka
2000	A method of the separation of source and site effects and the apparent Q structure from strong motion data	Geophysical Research Letters, 27, 3429-3432	Petukhin, A
2000	Estimation of dynamic rupture parameters from the radiated seismic energy and apparent stress	Geophysical Research Letters, 27, 3429-3432	Pulido, N.
2000	Standard basin structure model construction and strong ground motion simulation for Kobe	Proceedings of 12th World Conference of Earthquake Engineering, 2691 (8pp)	Iwata, T., H. Kawase, H. Sekiguchi, S. Matsushima and A. Pitarka
2000	Source characterization of inland earthquakes in Japan using source inversion results	Proceedings of 12th World Conference of Earthquake Engineering, 1850 (8pp)	Miyakoshi, K., T. Kagawa, H. Sekiguchi and T. Iwata
2000	Prediction of strong motions from future earthquakes caused by active faults – case of the Osaka basin –	Proceedings of 12th World Conference of Earthquake Engineering, 1243 (8pp), (CD-ROM)	
2000	The source inversion with source waveforms including rupture directivity on each sub fault by convolution technique	Proceedings of 12th World Conference of Earthquake Engineering, 0756 (8pp)	Sekiguchi, H., and T. Iwata:
2000	The rupture process of the MJ=7.2 1995 Hyogo-ken Nanbu (Kobe) earthquake deduced from S-wave polarization analysis	Geophysical Journal International, 143, 521-544	Bouin, M.-P., M. Cocco, G. Cultrera and H. Sekiguchi
2000	Characteristics of observed peak amplitude for strong ground motion from the 1995 Hyogo-ken Nanbu (Kobe) earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, 90, 545-566	Fukushima, Y., T. Uetake and H. Matsumoto
2000	Inversion of source parameters and site effects from strong ground motion records using genetic algorithms	Bulletin of Seismological Society of America, 90, 977-993	Moya, A. and J. Aguirre
2000	Simulation of near-fault strong ground motion using hybrid Green's functions	Bulletin of Seismological Society of America, 90, 566-587	Pitarka, A., P. Somerville, Y. Fukushima, T. Uetake, and K. Irikura:
2000	Fault geometry at the rupture termination of the 1995 Hyogo-ken Nanbu earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, 90, 117-133	Sekiguchi, H., and T. Iwata:
2000	Dynamic rupture simulation of the southern part of the Chelungpu fault in the Chi-Chi earthquake	Transaction of the 2000 Annual Meeting of the Geological Society of China, 266-268	Dalguer, L. A., H. C. Chiu, and J. Riera:
2000	Source model for simulating ground motion during the 1999 Chi-Chi earthquake	Proceeding of International Workshop on Annual Commemoration of Chi-Chi earthquake, 1, 1-12	K. Kamae and L. A. Dalguer
2000	Rupture process of the 1999 Chi-Chi Taiwan earthquake and its near-source strong ground motions	Proceedings of International Workshop on Annual Commemoration of Chi-Chi Earthquake, 1, 36-46	Iwata, T. and H. Sekiguchi

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2000	Dynamic source effects of dip-slip earthquake on strong ground motion	Proceedings of the 2nd ACES Workshop, 250-255	Dalguer L. A
2000	Source characterization of inland crustal earthquakes for near-source ground motions	Proceedings of the 6th International Conference on Seismic Zonation (CD-ROM)	Miyake, H. and T. Iwata
2000	Distribution of the site amplification factors on Osaka plain based on questionnaire survey of the 1995 Hyogo-ken Nanbu earthquake	Proceedings of the 6th International Conference on Seismic Zonation (CD-ROM)	Tsurugi, M., S. Sawada, and K. Toki
2000	Source characteristics for predicting strong-ground motion	International Workshop on the Quantitative Prediction of Strong-motion and the Physics of Earthquake Sources	K. Kamae
2000	Straightforward methods to detect non-linear response of the soil Application to the recordings of the Kobe earthquake (Japan 1995)	Journal of Seismology, 4, 161-173	Lacave-Lachet, C., P.-Y. Bard and J-C. Gariel
2001	An approximate elastic two-dimensional Green's function for a constant-gradient medium	Geophysical Journal International, 146, 237-248,	Sanchez-Sesma, F. J. and R. Madariaga
2001	S-wave velocity structure of the Taichung basin Taiwan estimated from array and single-station records of microtremors	Bulletin of Seismological Society of America, 91, 1267-1282	Satoh, T., H. Kawase, T. Iwata, S. Higashi, T. Sato, and H.-C. Huang:
2001	シナリオ地震の強震動予測	地学雑誌, 特集号「地震災害を考える—予測と対策」, 110, 849-875	三宅弘恵
2001	Estimation of rupture propagation direction and strongmotion generation area from azimuth and distance dependence of source amplitude spectra	Geophysical Research Letters, 28, 2727-2730	Miyake, H. and T. Iwata
2001	The importance of the dynamic source effects on strong ground motion during the 1999 Chi-Chi Taiwan earthquake: Brief interpretation of the damage distribution on buildings	Bulletin of Seismological Society of America 91, 1112-1127	Dalguer L. A., J. Riera, and H. C. Chiu
2001	Fault dynamic rupture simulation of the hypocenter area of the thrust fault of the 1999 Chi-Chi (Taiwan) earthquake	Geophysical Research Letters, 28, 1327-1330	Dalguer L. A., J. Riera, and H. C. Chiu
2001	Achievements of strong motion seismology in 20th century and its future directions	Proceedings of Symposium in Honor of Takuji Kobori "Earthquake Engineering in the next millennium", 37-45	
2001	周期帯域に応じた強震動評価法の高精度化 地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究	平成12年度研究成果報告書, 209-233	三宅弘恵・岩田知孝・釜江克宏・宮越 研・香川敬生:
2001	Achievements of strong motion seismology in 20th century and its future directions	Proceedings of US-Japan Cooperative Research for Urban Earthquake Disaster Mitigation Workshop on Prediction of Strong Motions in Urban Regions, 53-62	



発表年	論文名	発表誌名	共著者
2001	Prediction of strong ground motion for specific active-fault earthquakes	Proceedings of US-Japan Joint Workshop and third grantees meeting, 43-52	H. Miyake, T. Iwata, K. Kamae, T. Kagawa, and K. Miyakoshi
2001	経験的グリーン関数法を用いた2000年10月6日鳥取県西部地震の震源のモデル化と強震動シミュレーション	2000年度日本建築学会関東支部研究報告集, 157-160	池田隆明・釜江克宏・三輪 滋
2001	経験的グリーン関数法を用いた2000年10月6日鳥取県西部地震の震源の特性化と強震動シミュレーション	第26回地震工学研究発表会講演論文集, 373-376	池田隆明・釜江克宏・三輪 滋
2002	Source inversion for estimating continuous slip distribution on the fault -Introduction of Green's functions convolved with a correction function to give moving dislocation effects in subfaults-	Geophysical Journal International, 150, 377-391	Sekiguchi, H. and T. Iwata
2002	Distribution of Dynamic and Static Stress Changes during 2000 Tottori (Japan) Earthquake; Brief Interpretation of the Earthquake Sequences; Foreshocks Mainshock and Aftershocks	Geophysical Research Letters, 29 (16), doi: 10.1029/2001GL014333	Dalguer, L. A., W. Zhang, and J. D. Riera:
2002	Changes in shear moduli of liquefied and nonliquefied soils during the 1995 Kobe earthquake and its aftershocks at three vertical-array sites	Bulletin of Seismological Society of America, 92, 1952-1969	Pavlenko, O.
2002	Types of elastic nonlinearity of sedimentary soils	Geophysical Research Letters, 29, 10.1029/2002GL014794	Pavlenko, O.
2002	Nonlinearity in the response of soils in the 1995 Kobe earthquake in vertical components of records	Soil Dynamics Earthquake Engineering, 22, 967-976	Pavlenko, O.
2002	黄檗断層の地下構造調査	地震第2輯, 55, 153-166	小泉尚嗣・佃 栄吉・高橋 誠・横田 裕・岩田知孝・上砂正一・高木 清・長谷川昌志
2002	Recipe for estimating strong ground motions from active fault earthquakes Seismotectonics in Convergent Plate Boundary Eds. Y. Fujinawa and A. Yoshida	Terra Scientific Publishing Company (TERRAPUB), Tokyo, 45-55	
2002	兵庫県南部地震の同時シミュレーション～第2回表層地質が地震動に及ぼす影響に関する国際シンポジウムから～	月刊地球, 号外37「最近の強震動予測研究—どこまで予測可能となったのか?」, 170-178	岩田知孝・川瀬 博・関口春子・松島信一
2002	経験的グリーン関数法を用いた2000年鳥取県西部地震の震源のモデル化と強震動シミュレーション	日本建築学会構造系論文集, 561, 37-45	池田隆明・釜江克宏・三輪 滋
2002	トルコ・コジャエリ 台湾・集集地震の震源の特性化と強震動シミュレーション	第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 545-550	釜江克宏
2002	ハイブリッド法による2000年鳥取県西部地震の強震動シミュレーション	第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 579-582	池田隆明・釜江克宏・三輪 滋
2002	Distribution of dynamic and static stress changes during 2000 Tottori (Japan) Earthquake; Foreshocks mainshock and aftershock	Geophysical Research Letters, 29, 10.1029/2001GL014333	Dalguer, L. A., W. Zhang and J. Riera:

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2002	強震動研究の到達点および今後の展望	月刊地球号外37, 「最近の強震動予測研究—どこまで予測可能となったか?」, 213-223	
2002	予測のための震源のモデル化	月刊地球号外37, 「最近の強震動予測研究—どこまで予測可能となったか?」, 62-77	三宅弘恵
2002	周期帯域に応じた強震動評価法の高精度化	地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究第1回シンポジウム論文集, 89-96	三宅弘恵・岩田知孝・釜江克宏
2002	アスペリティモデルに基づく強震動予測のための震源モデルの特性化手法	第11回日本地震工学シンポジウム, 107, 555-560	壇 一男・佐藤俊明
2002	強震動予測のための修正レシピとその検証	第11回日本地震工学シンポジウム, 109, 567-570	三宅弘恵・岩田知孝・釜江克宏・川辺秀憲
2002	基盤入射波スペクトルに見られる高周波数限界に関する検討—2000年鳥取県西部地震の本震及び余震—	第11回日本地震工学シンポジウム, 109-112	鶴来雅人・香川敬生・三明雅幸・羽田浩二
2002	周期帯域に応じた強震動予測手法の高精度化地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究	平成13年度研究成果報告書, 205-215	三宅弘恵・岩田知孝・釜江克宏・川辺秀憲
2002	兵庫県南部地震の同時シミュレーション～第2回表層地質が地震動に及ぼす影響に関する国際シンポジウムから～	月刊地球, 号外37「最近の強震動予測研究—どこまで予測可能となったのか?」, 170-178	岩田知孝・川瀬 博・関口春子・松島信一
2003	地震動予測地図における強震動評価について—内陸地震と海溝型地震に対する強震動予測レシピとその問題点—	地震動予測地図ワークショップ—地震調査研究と地震防災工学・社会科学との連携—予稿集, 35-52	
2003	Simulation of tensile crack generation by 3-D dynamic shear rupture propagation during an earthquake	Journal of Geophysical Research, 108 (B3), 2144, doi: 10.1029/2001JB001738	Dalguer, L. A., and J. Riera:
2003	Heterogeneous distribution of the dynamic source parameters of the 1999 Chi-Chi Taiwan earthquake”	Journal of Geophysical Research, 108, doi: 10.1029/2002JB001889	Zhang, W., T. Iwata, H. Sekiguchi, and M. Bouchon:
2003	将来の大地震による強震動を予測するためのレシピ	京都大学防災研究所年報, 46 B, 105-120	三宅弘恵, 岩田知孝, 釜江克宏, 川辺秀憲, Luis Angel Dalguer
2003	内陸地震と海溝型地震に対する強震動予測レシピとその問題点	地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究第2回シンポジウム論文集, 71-78	三宅弘恵・岩田知孝・釜江克宏・川辺秀憲・Luis Angel Dalguer
2003	Source characteristics of shallow intraslab earthquakes derived from strong-motion simulations	Earth Planets Space, 55, e5-e8	Asano, K., and T. Iwata
2003	Estimation of seismic site response in the Tangshan area China using deep underground records	Bulletin of Seismological Society of America, 93, 1065-1078	Matsunami, K., W. Zhang, and L.-L. Xie:
2003	Estimation of Site Effects and Q factor using a reference event	Bulletin of Seismological Society of America, 93, 1730-1745	Moya, A.
2003	Estimation of Q-Values in the seismogenic and aseismic layers in the Kinki region Japan by elimination of the geometrical spreading effect using ray approximation	Bulletin of Seismological Society of America, 93, 1498-1515	Petukhin, A., S. Ohmi, and T. Kagawa:

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2003	Generation of New Cracks Accompanied by the Dynamic Shear Rupture Propagation of the 2000 Tottori (Japan) Earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, 93, 2236-2252,	Dalguer, L. A; and J. Riera:
2003	Reliability of envelope inversion for the high-frequency radiation source process using strong motion data: Example of the 1995 Hyogoken Nanbu earthquake	Bulletin of Seismological Society of America, 93, 2005-2016	Aguirre, J.
2003	Source characterization for broadband ground-motion simulation Kinematic heterogeneous source model and strong motion generation area	Bulletin of Seismological Society of America, 93, 2531-2545	Miyake, H. and T. Iwata
2003	Estimation of nonlinear time-dependent soil behavior in strong ground motion based on vertical array data	Pure and Applied Geophysics, 160, 2365-2379	Pavlenko, O. V
2004	Rupture model of the 1999 Duzce Turkey earthquake deduced from high and low frequency strong motion data	Geophysical Research Letters 31, L05610, doi:10.1029/2003GL019194	Birgoren, G. and H. Sekiguchi
2004	Ground motion and fault rupture process of the surface and buried rupture earthquakes	Earth Planets Space, 56, 3-14	Kagawa, T. and P. G. Somerville:
2004	Analysis of the reliability and resolution of the earthquake source history inferred from waveforms, taking the Chi-Chi earthquake as an example	Geophysical Journal International	Zhou, S. and X. Chen

## 論 説

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1994	地震災害軽減のための強震動の予測	第9回「大学と科学」公開シンポジウム講演収録集『自然災害と地域防災』, 72-89	
1998	大加速度(速度)強震動の成因解明と強震動—地震被害との相互関連性に関する研究—	東京大学地震研究所広報, 21, 1-1, 3-8	境有紀・工藤一嘉
1999	地震とともに生きるにはどうすればよいのか?	ないふる, 14, 3	
1999	強震観測の最新情報 —関西地震観測研究協議会(関震協:CEORKA)—	日本地震学会ニュースレター, 11(4), 28-30	香川敬生
2000	都市を襲う地震から身を守るアドバイス—敵を知り己を知る—	電気協会報12年9月号, 50-54	
2000	阪神・淡路大震災を起こしたものは何であったのか	岩波科学, 70-1, 42-50	
2001	特定の活断層を起震断層とした強震動の評価方法 第2回地震調査研究と地震動予測値図の作成に向けて—現状と今後の課題—	平成13年3月文部科学省, 別冊1-24	
2001	強震動予測における震源の取り扱い 強震動予測—その基礎と応用	第1回講習会テキスト, (社)日本地震学会強震動委員会, 1-33	三宅弘恵
2002	想定される地震動 シナリオ地震の強震動予測 兵庫県南部地震以降の地震防災—何が変わったか これから何が必要なのか—	講演会資料(日本地震工学会), 9-37	三宅弘恵

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2002	キラパルス波が引き起こした「震災の帯」	AERA Mook「地震がわかる」, 朝日新聞社, 114-118	
2002	南海地震と東南海地震の強震動(上)	サイスモ, 6(2), 5-7	
2002	南海地震と東南海地震の強震動(下)	サイスモ, 6(3), 11-12	
2003	地震災害軽減研究のための新たな取り組み	学術月報, 特集: 防災の科学, 56, 22-28	
2003	地震動予測地図における強震動評価について—内陸地震と海溝型地震に対する強震動予測レシピとその問題点—	地震動予測地図ワークショップ—地震調査研究と地震防災工学・社会科学との連携—予稿集, 35-52	
2003	東南海・南海地震による揺れの予測	地震フォーラム'02—来るべき東南海・南海地震に備えて—, 47-54	
2004	地震動予測地図における強震動評価	地震動予測地図ワークショップ—地震調査研究と地震防災工学・社会科学との連携—予稿集, 47-72	三宅弘恵

## 著 書

発表年	書名	出版社名	共著者
1993	Earthquake Motion and Ground Conditions	The Architectural Institute of Japan	共著
1995	阪神・淡路大震災誌	朝日新聞社	共著
1996	巨大地震の予知と防災	創文社	共著
1996	阪神・淡路大震災と地震の予測	岩波書店	深尾良夫、石橋克彦編(分担)
1996	阪神・淡路大震災	東海大学出版会	中川康一他
1998	The Effects of Surface Geology on Seismic Motion, Vol.1, 2, and 3	A. A. Balkema, Rotterdam	Coeditor
1998	大震災以後	岩波書店	室崎益輝・藤田和夫編(分担)
1998	阪神淡路大震災調査報告書(共通編 2-1 地震・地震動)	阪神淡路大震災調査報告編集委員会出版	共著
1998	1995年兵庫県南部地震の震源断層と強震動	阪神・淡路大震災調査報告, 機械編, 第1章, 阪神・淡路大震災調査研究委員会, 日本地震学会・土木学会・日本建築学会・地盤工学会・日本機械学会, 3-28	岩田知孝・関口春子・釜江克宏
1998	1995年兵庫県南部地震の強震動大震災に学ぶ	阪神・淡路大震災調査研究委員会報告書, 1, 土木学会関西支部, 116-144	岩田知孝・関口春子・釜江克宏
2001	ここまでわかった都市直下地震	クバプロ	共著
2001	防災ハンドブック	京都大学防災研究所編, 朝倉書店	(分担)
2003	地震災害論 防災学講座2 京都大学防災研究所編	山海堂	共著